

事務事業事後評価シート[平成29年度事業]

1. 基本情報

■事業の担当課	企画部政策企画課		■担当係	秘書係
■評価事業名称	姉妹都市及び友好都市交流事務			
■事業開始年度				
■評価事業コード	010100 - 703	■会計区分	一般会計	
■総合計画での位置づけ	■政策	02 生きる力を育み、文化が躍動するまちづくり		
	■基本施策	04 芸術文化の振興・国際交流の推進		
	■施策	03 国際化に対応したまちづくりの推進		
■事業の類型	05 ソフト事業(任意)		■政策・業務区分	政策
■法令の根拠区分	法令に特に定めのないもの			
■法令等の名称	北上市姉妹都市・友好都市委員会要綱			
■関連計画の名称				
■事業の目的と概要	姉妹都市・友好都市委員会の開催、姉妹都市及び友好都市等の情報交換、交流事業の実施。姉妹都市・友好都市の交流促進を図るため姉妹都市・友好都市委員会を開催し、情報交換及び交流事業の実施について協議検討。			

2. 細事業の活動実績情報

細事業コード	細事業名称	事業の対象	平成29年度事業計画	平成29年度事業量実績
01	姉妹都市及び友好都市交流事務	市民等	<ul style="list-style-type: none"> ・姉妹都市・友好都市委員会 1回開催 ・柴田町との交流1回(柴田さくらマラソン参加) ・石垣市との交流3回(八重山高校郷土芸能部のみちのく芸能まつり参加、石垣島まつり参加、石垣マラソン参加) 	<ul style="list-style-type: none"> ・柴田町との交流1回(柴田さくらマラソン参加)・石垣市との交流5回(石垣市70周年記念式典出席、八重山高校郷土芸能のみちのく芸能まつり参加、石垣市副市長の北上マラソン参加、石垣島まつり参加、石垣マラソン・かけはし交流パーティー参加)
02	石垣市友好都市交流事業(政策企画課)	市民等		<ul style="list-style-type: none"> ・八重山高校郷土芸能のみちのく芸能まつり参加 2日間・3回公演 ・参加者数 生徒49人、引率者・保護者8人

3. 投入コスト情報

(単位:千円)

	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	備考
直接事業費	2,735	86	126	1,500	
人件費	1,258	2,160	1,727	458	
その他(公債費・減価償却費等)					
フルコスト	3,993	2,246	1,853	1,958	

4. 評価指標等の状況

事務事業事後評価シート[平成29年度事業]

指標コード	指標名	26年度	27年度	28年度	29年度	指標の説明
01	交流事業件数	17	14	16	19	コンコード市0件、三門峡市0件、柴田町4件、流山市2件、石垣市5件、小金井市1件、江東区2件、品川区・荒川区各1件、中国洛陽市1件、秦野市1件、ニュージーランドマタマタ市1件
02	北上市姉妹都市・友好都市委員会の開催	1	1	1	1	姉妹都市・友好都市委員会開催数1回
03	姉妹都市・友好都市との親善交流	1				実施交流事業/交流目標値

5. 事後評価(「政策」事業類型5・6のみ)

■目標達成状況

- A. 順調
- B. 概ね順調
- C. 遅れている

達成状況の分析

姉妹都市・友好都市との交流の他、正式な締結をしていない自治体等との交流も行うことができている。

問題点・課題等

三門峡市との交流が停滞している。嵐山市との友好都市締結の機運が高まっている。

1. 直接的な受益者の範囲

- 不特定多数に及ぶ
- 特定されるが多数に及ぶ
- 特定少数に限定される

2. 国・県・民間との競合関係の有無

- 類似の事業はない
- 類似の事業はあるが競合はない
- 類似の事業があり競合する

3. 事業廃止の影響

- 大きな不利益やリスクが生じる
- ある程度の不利益やリスクが生じる
- 不利益やリスクは小さい

4. 市民生活・企業活動への影響

- 市民生活・企業活動の維持に不可欠
- 市民生活・企業活動の維持の向上に必要
- 市民生活・企業活動の維持の向上への影響は少ない

5. 事業廃止の影響を受ける受益者の割合

- 1. で選択した人の大多数(70%程度)
- 1. で選択した人の半分程度(50%程度)
- 1. で選択した人の少数(30%程度)

6. 事業へのニーズの変化

- ニーズが高まっている
- ニーズは変わらない
- ニーズが低下している又は合致しない

7. 施策の改善需要度(市民意識調査)

- 順位が高い
- 順位が中程度
- 順位が低い

8. 施策の優先度(市民意識調査)

- 順位が高い
- 順位が中程度
- 順位が低い

9. 他市町村に比較しての優位性

- 先進的またはユニークな事業である
- 他と同程度の事業である
- 遅れている事業である

10. 実施主体の代替性

- 民間委託等の拡充は難しい
- 民間委託等の拡充が十分に可能
- 全部委託や実施主体の移行が可能

11. 経済性・効率性の向上

- 今以上の効率化や改善は難しい
- 効率化や改善を図ることは十分に可能
- 効率化や改善の余地が大きい

■事業の見直し方策(評価項目2,4の補足説明含む)

各自治体との姉妹都市・友好都市締結や交流のきっかけとなったことがらを踏まえ、行政のみならず市民を含めた交流を行っていくため、継続した事業実施とする。嵐山市との友好都市締結について、相手方の意向を確認しながら協議していく。

■今後の方向性

- I. 拡充
- II. 継続
- III. 縮小
- IV. 廃止・休止
- V. 完了